



公益財団法人 浅香山病院 リハビリテーション部  
リハビリ通信



## 当院の訪問リハビリテーション

近年は高齢社会の進行によって、医療従事者の活躍が期待される場合は、病院や診療所以外にも在宅へと広がっています。当院は平成7年3月に病院内併設型訪問看護ステーションとして「ひまわり訪問看護ステーション」が開設されました。ひまわり訪問看護ステーションでは、看護師・リハビリスタッフが医師の指示の下で利用者さまの在宅支援として「病状や健康状態の確認」「こころのケア」「医療処置」「苦痛緩和の支援」「看取りの支援」「家族支援」などの専門的なサービスを提供しています。

今回は、「訪問リハビリとは何か」「浅香山病院での訪問リハビリ」について紹介します。

### ◎訪問リハビリとは？

訪問リハビリとはその人が自分らしく暮らすために、それぞれの地域にて向いてリハビリテーションの立場から行われる支援です。その中で、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士は、健康状態を把握した上で生活機能および背景因子を評価し、リハビリテーションの概念に基づいた本人・家族等への直接的支援と関連職種への助言等の間接的支援を提供します。(日本訪問リハビリテーション協会 ホームページより引用)

訪問リハビリの対象：通院が困難な者に対して、指定訪問リハビリテーション事業所の理学療法士・作業療法士又は言語聴覚士が計画的な医学管理を行っている医師の指示に基づき、訪問リハビリを行った場合。

(厚生労働省 訪問リハビリテーション資料より引用)

- ◎階段や上がり框の昇降が不安
- ◎病院を退院したけど自宅生活に不安がある。



- ◎近所のスーパーで買い物がしたい
- ◎家事をもっとしたい
- ◎自宅で運動を続けたい

自宅で生活している中で、不安に感じたことはないですか？

訪問リハビリスタッフは利用者さま専用のプログラムをマンツーマンで指導を行う・自宅生活内での役割を見つける・社会参加の促進・利用者さまとその家族さまを含めた心理サポートなどをその人に合わせたリハビリを実施しています！

### ～病院リハビリと訪問リハビリの違いは？～

リハビリには理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の3療法があり、それぞれに専門性が異なります。それぞれの専門職が、対象者さまの状態・時期に応じて「その人らしい生活を送れる」ように支援しております。

	 病院リハビリ	 訪問リハビリ
人数は？	約50名が在籍しています。	12名(普段は病院内で働いています。)
回数 時間	5～7日/週 1日1～3療法 1回 20分～60分 ※個人差があります。	1～2回/週 1回1療法 1回 20分～40分 ※個人差があります。
特徴①	病気やケガに対して、集中的にリハビリを実施しています。	自宅生活内での役割・質の向上など「その人らしい生活」への支援を実施しています。
特徴②	急性期から在宅支援まで、患者さまの身体状態やニーズに沿ったリハビリを実施しています。	利用者さまの生活に寄り添った目標設定・目標管理に沿ったリハビリを実施しています。
訓練内容	身体機能訓練・自宅生活を想定した生活機能訓練を実施しています。	自宅での生活機能訓練や趣味・外出支援(屋外歩行)など生活に直結したリハビリを実施しています。

## ～浅香山病院の訪問リハビリについて～

急性期から在宅支援まで地域の皆様の健康と「その人らしい生き生きとした生活」を支えるために、理学療法・作業療法・言語聴覚療法を実施しており、色々な場所で活躍しています。退院支援の中で「在宅生活への不安」「通院ではなく自宅で専門的な指導を受けて動けるようになりたい」「趣味や外出など活動の場を広げたい」という対象者さまが、ひまわり訪問看護ステーションの訪問リハビリを利用しています!!実績は月に150件ほど行っています!!

### 病院と併設しているからこそ・・・

- ◎入院中の病状を知っている。
- ◎入院中にもリハビリを行っているため、対象者さま・家族さまとの関係性が築けている。
- ◎急性期・回復期・緩和ケア・地域包括といういろいろな経験をしているリハビリスタッフが訪問するため、多様な対応ができる。

### 実際に利用している方からの声



病院を退院後、腰痛が酷くて生活が送りにくかった。訪問リハビリで動作指導・運動指導を受けたことで痛みが少なく生活が送りがやすくなった。

Aさん

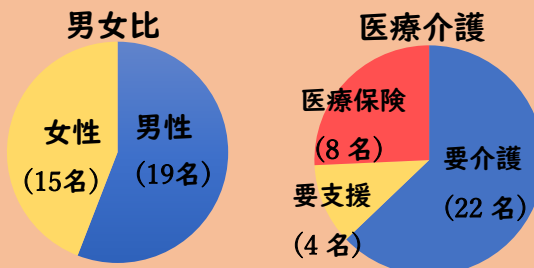


運動はもちろん、みんなで話しが出来る時間も楽しい。訪問リハビリの日が楽しみ。

Bさん



現在、当院の訪問リハビリを34名の方が利用されています。  
平均年齢は男性:79.4歳 女性:81.5歳  
40歳代～90歳代と幅広い年齢の方に  
ご利用いただいています!!



当院訪問リハ実績 (2022.4.7現在)

### 誰でも利用できるの??

- ◎要介護1以上の方：主治医が訪問リハビリの必要性を認めた場合となります。
- ◎要支援の方：「介護予防訪問リハビリ」のサービスを受けることができます。
- ◎要介護認定を受けていないまたは65歳未満の方：医療保険で利用できます。

### 利用するにはどうしたらいいの??

#### ★かかりつけ医師のある方

- ①かかりつけ医師またはケアマネージャーに相談する→②訪問リハビリを開始します

#### ★かかりつけ医師がなく、通院にお困りの方

- ①ひまわり訪問看護ステーションに相談する→②スタッフが相談を受ける→③訪問リハビリを開始します

#### ★当院で治療を受けている方

- ①当院の医師に相談する→②医師がひまわり訪問看護ステーションに連絡・指示する→③訪問リハビリを開始します

訪問リハビリの利用はどうか?

気になる方は主治医・ケアマネージャー・当院のひまわり看護ステーションにお問い合わせください。



公益財団法人 浅香山病院

ひまわり訪問看護ステーション

〒590-0018 堺市堺区今池町3丁目3番16号

場所:透析センター棟 2階

TEL:072-222-9011

文責:リハビリテーション部 麻野